

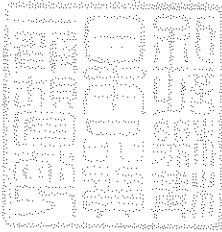
平成 23年 4月 15日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名			
高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト			
GHG 検証機関			
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	一般財団法人 日本品質保証機構		
担当部署名	地球環境事業部		
責任者名	矢野 忠行		
責任者 E-mail	yano-tadayuki@jqa.jp		
責任者電話番号	03-6212-9333		
審査員名 ¹	野村 祐吾: チームリーダー、審査チームの統括、審査結果の取りまとめ 外部専門家: なし レビュー担当者: 前垣内 正記(判定会委員長)		
機関要件への合致	合致		
検証報告書発行日	2011年4月15日		
検証結果			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2		
検証期間	2011年3月22日～2011年4月15日		
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	2011年3月31日
審査内容	デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。 <GHG データ及び情報> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの活動境界の設定が適切か プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動が特定されているか パラメータの引用は適切か 		



		審査内容		<ul style="list-style-type: none"> 活動量データ並びに算定に必要なデータはどのように収集されているか データの集計は正確か 吸収増大量の算定は正確に行われているか <QA・QC体制> <ul style="list-style-type: none"> モニタリング体制及び算定体制は適切か モニタリング担当者の力量は十分か データチェックはどのように行われているか 計測機器の管理はどのように行われているか 		
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO ₂	187.90	187.63	169.75	—	—
(但し、2010年度は2010年4月1日～2011年2月28日の期間)						
 検証結果の要約		<p>一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、大豊町における森林施業計画区域内の森林のうち、梶ヶ内字カナアノ及び佐賀山字佛岳山を対象として、モニタリング期間(2010年4月1日～2011年2月28日)における二酸化炭素吸収増大量を検証した。</p> <p>検証の結果、「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書Ver. 1.1 高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト」に記載された二酸化炭素吸収増大量545 t-CO₂は、「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト申請書 Ver. 1.2」及び「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト申請書別紙モニタリングプラン(Ver. 1.2)」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO₂(二酸化炭素吸収増大量に対する割合: 0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。